

第2回南部作業部会議事録

開催日時: 令和8年8月3日 18時～19時30分

開催場所: 南部公民館 集会室

参加者

グループ	1	2	3	4
人数	4名	4名	4名	3名

- **あいさつ、アイスブレイク**

事務局から、参加のお礼と前回の内容について説明があった。

その後、第1回と同じ4つのグループに分かれてアイスブレイクを行った。

- **グループワーク①**

第1回で出し合った「自分たちが住みたい地域」「地域に住む人が住みたい地域」の各アイデアを4つのテーマに分別した。

- **グループワーク②**

再度グループ分けを行い、参加者を4つのグループに分け、4つのテーマの中でさらに同じような内容にまとめた。

まとめ

- **つながり、支え合いのあるまち:** このテーマでは、気軽に参加できるイベントや相談窓口の設置、挨拶の促進、誰もが参加できる子育て支援、支え合いの地域づくりが挙げられた。また、その中でも「南部を学ぼう」という市民の学びに対する強い意欲が確認され、地域の歴史や背景を知ることが重要であるとの意見が出た。
- **安心・安全のあるまち:** このテーマでは、防犯や防災に強い地域づくり、バリアフリー化による生活の質の向上、近くに病院がある環境の確保などが提言された。さらに、地域内の繋がりを基盤としつつ、防災学習や訓練、備蓄の強化が不可欠な要素として追加された。
- **暮らしを支えるサービスが充実したまち:** このテーマでは、暮らしを支えるサービスについて6つに分類された。具体的には、買い物の利便性向上、福祉サービスや補助の充実、交通網の整備、子どもや高齢者の居場所確保、充実した資料・リソースの提供、そして地元のお店を大切にすることが挙げられた。特に地元のお店を大切にすることは、サービスを受ける側から提供し守る側への意識変革として提案された。
- **地域が元気になるまち:** このテーマでは、「地域が元気になる町」として、8つの具体的な要素に分類された。これには子育て世代の住みやすさ、若者の学習・娯楽環境、3世代同居可能な街、外国人が暮らしやすい環境、季節の祭りやイベントの開

催、経済的な自立、買い物の楽しさ、そして楽しめる場所の多さが含まれていると提言した。

